

## 令和3年9月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km<sup>2</sup>)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,496	8,814	4,459	4,355	△ 10	△ 17
2 千 石	3,891	6,626	3,377	3,249	11	3
3 内 山	5,623	7,984	4,259	3,725	5	△ 6
4 大 和	3,417	6,681	3,271	3,410	7	20
5 上 野	7,383	15,479	7,609	7,870	9	16
6 高 見	7,279	13,296	6,365	6,931	△ 14	△ 20
7 春 岡	6,849	11,038	5,786	5,252	2	6
8 田 代	11,218	21,917	10,437	11,480	△ 8	25
9 東 山	10,327	19,331	9,431	9,900	9	3
10 見 付	4,373	8,222	4,119	4,103	3	△ 2
11 星 ケ 丘	3,452	6,794	3,039	3,755	△ 7	△ 15
12 自 由 ケ 丘	3,569	7,291	3,299	3,992	5	13
13 富 士 見 台	6,444	15,231	6,934	8,297	10	11
14 宮 根	3,766	8,103	3,750	4,353	△ 11	△ 26
15 千 代 田 橋	3,685	8,329	3,940	4,389	△ 11	△ 29
千 種 区 計	86,772	165,136	80,075	85,061	0	△ 18
R2.9.1	88,365	166,033	81,112	84,921	△ 61	△ 46
対 前 年 比	△ 1593	△ 897	△ 1037	140	61	28
名 古 屋 市	1,125,478	2,327,819	1,143,039	1,184,780	121	△ 135
愛 知 県 ( R3.8.1 )	3,248,421	7,523,376	3,748,622	3,774,754	20	△ 1,863

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	97	135	△ 38	878	858	20

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118		
平成2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
平成7年	148,847	平成27年	164,696	146,727 (平成11年4月1日)	

注1) 令和2年度の国勢調査の世帯数と人口は、確定値が出ていないため千種区人口は未掲載。  
 注2) 世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果の本市独自集計速報値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

## 千種区の地価の推移

今回は、令和2年版名古屋市統計年鑑を基に、名古屋市および千種区の平成23年から令和2年の住宅地と商業地の地価についてみてみます。

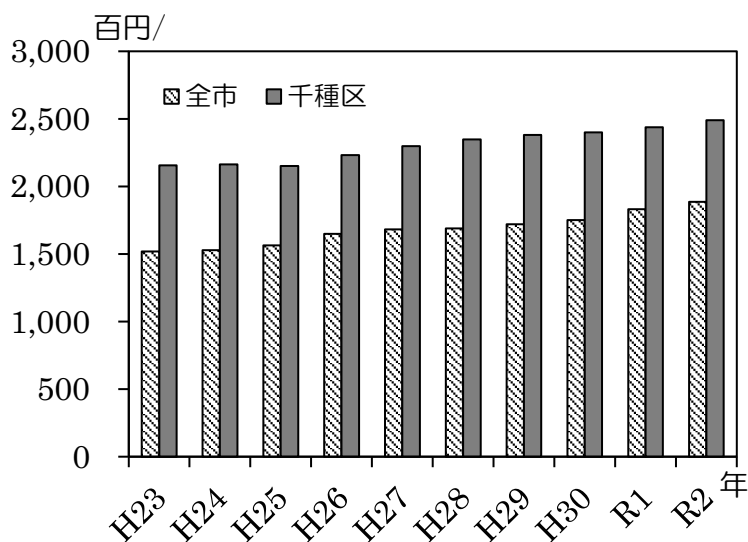


図1：住宅地地価平均価格の推移  
(平成23年～令和2年1月1日現在)

まず、千種区の住宅地の地価の平均価格をみると、平成23年以降右肩上がりになっており、10年前と比較すると15.5%プラスとなっています。令和2年の千種区の地価は2,489百円/㎡で、名古屋市全体の1,887百円/㎡よりも高くなっています。この数値は、全16区中4位という順位になっています。

千種区の令和2年の地価変動率（前年から継続した調査地点の価格の対前年変動率の単純平均値）は1.9%（前年2.1%）で、これは全16区中7位となっており、1位は中区で18.5%（前年24.1%）となっています。

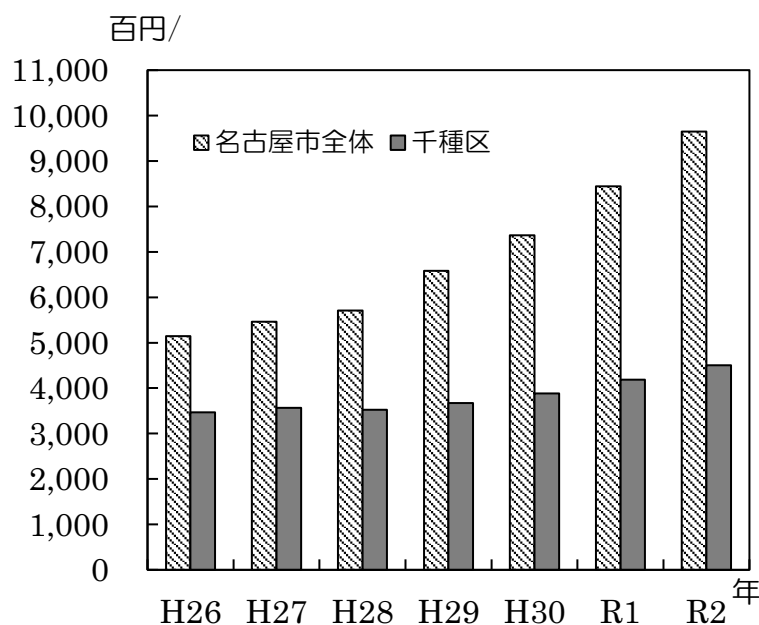


図2：商業地地価平均価格の推移  
(平成26年～令和2年1月1日現在)

次に、商業地の地価の平均価格をみると、平成29年までは緩やかな増加でしたが、平成30年以降は増加幅が広がっています。令和2年の千種区の平均価格は4,501百円/㎡（前年4,189百円/㎡）であり、この数字は全16区中5位となっています。

中村区（26,975百円/㎡）や中区（17,970百円/㎡）が平均を押し上げているため、千種区の地価は名古屋市全体（9,648百円/㎡）よりも低くなっていますが、千種区の地価は全16区中5位という順位になっています。

他区の平均地価は、1位の中村区が前年比119%、2位の中区が前年比113%、3位の東区が前年比113%となっており、名古屋市中心部の地価がかなり上昇したことがわかります。